

Telenoid



テレノイドケア

ショートレンタルパック

テレノイドを介護で使う
新しい時代の「交流」ツール



テレノイド対話をきっかけにして、ご入居者同士の会話やスタッフとの会話などを活発化させ、楽しい時間を過ごしていただくことを目的としています。ご入居者に対するスタッフの関わり方をより的確で満足度の高いものにするためのツール（道具）としてご活用ください。

購入パック 受注生産品

ロボットと暮らす
新しい介護の形



ユニットの空気感を変える

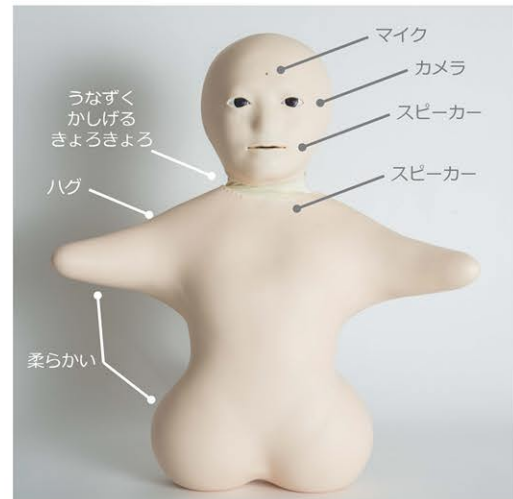
特に認知症状が重度化傾向にあり、周囲との交流が激減してしまった方や自閉症の方で周囲との会話が難しい方などがテレノイドに強い興味を持ち（本物の子供だと感じる方が多いです）、語りかける、一緒に歌を歌う、あやす、などの様子が見られることから、特養やグループホームでの利用が始まっています。

特養での導入効果や人材研修の効果について宮城大学老年看護学教室での共同研究が進められています。（2017年4月～）

※テレノイドに興味がない方や嫌悪を感じる方もいます。

研修プログラム

ロボットを教材にする
新しい対話学習の形



テレノイドの基本操作、オペレーターの会話練習、コミュニケーションロボットを導入する際の注意点等を通し「適切で質の高い会話とは何か？」「そうした会話によって業務にどのような良い影響が起こるか？」を考えます。

※「テレノイド™」は石黒浩教授（大阪大学基礎工学部教授、ATR 石黒浩特別研究所長（フェロー））が開発したアンドロイドロボットです。